アイデアと技術で成功をつかむ

強み持つ企業と協業を　安達氏
応用技術で受託開発も　水島氏
世界標準の装置目指す　徳永氏

安達　全く新しい技術なので、まずこれを皆さんに使っていただく努力をしていかないといけません。

そういう意味で、ゲルの技術では受託だけではなく、結晶化プレートなどの商品販売もやっていきたいと考えています。

「商品の開発、商品販売も含めて結晶総合サービス会社になろう」と社内に大号令をかけています。受賞した技術はその中軸となる技術です。また当然海外に持っていきたい。受託ですと海外での事業展開はハードルが高いため、皆さんに使っていただく商品に仕立てて海外に持っていくということが一つです。

そこにネックがあるとすれば、結晶化のメカニズムが分からないという点です。海外では物事の本質をとらえて、理解して買う傾向が非常に強く、特に米国や欧州の研究者からは、メカニズムは何かと常に聞かれます。まずはメリットよりもメカニズムを知る。そして頭で理解すると、今度はちゃんとファンになってくださる。当面は大学と連携して、このメカニズムを解明していきたいと考えています。その後、受託だけではなくて商品販売も世界的に行いたいと考えています。

自社だけでは限界があります。強みを持っている企業といかにコラボレーションするかも重要です。良い技術を持っていれば、国内だけではなく、海外と組むこともよいと思います。逆に、我々は結晶化に注力し、この技術を深化させ、技術を極めることに軸足を置き、後はコラボレーションする。こういう事業を展開していかなければならないと思います。

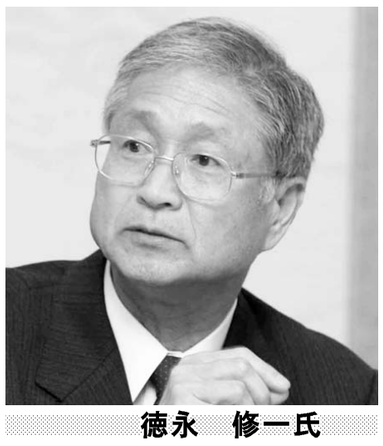
井水　コアコンピタンスをしっかりされていて、その周りを全部固めて技術モデルを作っていくというイメージですね。ぜひ頑張ってください。続きまして水島さん、お願いいたします。

水島　当社は、そこそこの性能を持って、壊れにくくて安いというレンジを狙い、センサーを開発してきました。例えば、押し圧を測るセンサーですと、非常に安価だが多少壊れやすいものもあれば、数十万円、数百万円するけれども精度よく荷重を測れるものもある。我々はその中間のレンジを狙っています。

また、センサーの柔らかさを生かして、褥瘡（じょくそう）防止用のベッドマットなどの医療・福祉機器の応用も計画しております。同分野のセンサーは、国内で売られているものは大体数百万円と高額なものが多く、数万円で作ることができれば、より一層多く使われていくのではないかと考えて、開発を進めています。

受賞した技術はセンサーヘッドにゴムを使用した静電容量型センサーですが、そこから先の信号処理回路とソフトウエアの技術は、センサーヘッドが違うものであっても応用可能ですので、この技術を生かして、全く違うセンサーシステムの受託開発などもやらせていただいています。社員は2人とわずかですが、親しい企業からの協力をいただきながら、お客さまにはトータルでソリューションを提供するように心がけています。

ただ、少人数のために営業力、製造力というのはやはり弱いところがありますので、ここ数年で、国内企業とタッグを組んで販売を強化していているところです。


徳永　修一氏

井水　まさに開発とマーケティングが一体化しているというか、マーケティング主導の開発という気もします。では、次に徳永さん、お願いいたします。

徳永　これからは自動吸引器の高機能化のほか、急性期分野への展開、ディスポ商品に取り組もうとしています。

私どもの自動吸引器は、今は慢性期の患者さんに多く使われています。昨年末に大学の先生から急性期医療に、吸引器をぜひ使いたいというお話があり、現在、共同研究しています。事故や急激な病状悪化で手術などをしたときに、集中治療室などで痰を取らないといけません。今は手で取るしかありません。看護師が感染したり、誤嚥性肺炎を起こしたりするということがあって、先生に目をつけていただきました。急性期医療用の自動吸引器の場合は安全装置がプラスになります。

それに合わせて、のどに入れる気管チューブの方も新しく個々の患者に合った製品を作ろうという話があります。

また、無電源で、電気を使わずに吸引できる足踏み式の吸引器も薬事承認を取りました。今後、災害や外出用、停電時に使っていただくための装置としてシリーズ展開する考えです。

自動吸引器を実際に使っている患者が全国にいます。一度使い始めるともう離せない、痛くない、夜間もぐっすり眠れると高く評価していただいています。装置が世界標準になるように、先生方と一緒に論文などを学会に発表するなどいろいろ活動しています。

井水　これは素晴らしい商品です。ぜひ世界商品になっていただきたいですね。では、野田さんいかがでしょうか。

野田　現在、EQneoのユーザーは60万人で、毎月10万人近くのペースで広がっていっています。これは当社で提供している店頭アフィリエイトシステム「EQSREAL」を活用してユーザーを集客しています。

ユーザーにとってEQneoを利用するメリットは何なのか。新しい商品情報を見られるのは当然ですが、コマーシャルは企業が多くのコストと労力をかけて制作したものであり、ストーリーやメッセージ性が内在しています。EQneoはコマーシャルが主役ですので、そういった新たな気付きを得ることができます。また、アプリを無料でダウンロードできるほか、ポイントがたまるというメリットもあります。利用者にデメリットは特にないのです。

私はよく「社員の皆が私のドラえもんだ」と言っています。私が作りたいというものを開発してくれ、理想をかたちにしてくれる大切なパートナーという意味で、ドラえもんと言っているのです。また、世界各国からもオファーをいただけるようになり、1月から台湾の仲間も6人採用し日本で研修をしています。これから台湾に新会社を立ち上げ、台湾のビジネス展開から中国にも展開をしていこうという話もいただいています。

EQneoの技術は勝手に保存・転用されないという確信があります。また、フェイスブックとの連動についても、友人間のつながりからどんどん拡散できるような仕組みの開発を進めていますので今後に期待していただけるとうれしいです。

井水　ぜひ壮大な構想にチャレンジしていただいて、日本発のネット革命の一翼を担っていただきたいですね。

豊かな個性で価値創造　石井氏
心大切に「一流の行動」　野田氏

井水　最後に、経営者として会社をどのように引っ張っていくのか。経営のモットー、あるいは人づくりなど経営の問題に焦点を絞っておうかがいしたいと思います。

石井　経営理念は「豊かな個性を尊重する全員参加型の経営を実践し、新しい価値の創造を通じて、オンリーワン企業を目指す」。

前段の「豊かな個性を尊重する」というのは、それぞれの社員が必ずや有している長所を何とか発揮してほしいということ。一方で「個性を発揮する」ですが、個性とは、やはり基礎、基本的なことを徹底してやり抜いて勉強したり、技能を身につけたりして、自然とにじみ出てくるものではないかと思います。

野田　大智氏

「全員参加型」については、我々中小企業の当たり前のことなので省略させていただきます。

「新しい価値を創造してオンリーワンと言われる商品を生んでいこう」というところは、大きな売り上げを求めたり、ビッグワンを目指したりするのではなく、オンリーワンと称されるにふさわしいものを頑張って作っていこうということです。

大事なことは企業の目的は、やはり世の中に役立つものを生んでいくことだと思います。そのために会社、組織があるわけです。組織自体の存続のみが自己目的化したり、独りよがりになったりすることは許されないことです。広く社会を見て、仕事をして、新しい価値を生んでいこうということでやらせていただいています。

井水　価値を心の底から共有するということが大事ですね。オンリーワンということにもこだわっておられて、独自技術、独自製品を持っています。それはやはり景気の変動に対しても強いですし、価格競争に巻き込まれなくても済むでしょうから。続きまして安達さん、お願いいたします。

安達　我々の使命は「ベンチャーは不安だ、長続きしない、リスクが大きい」という一般の認識を変えたいという大きな目標があります。当社としては急拡大するよりも、とにかく1年でも長くこの仕事を継続することが大切と考えています。その意味では、それを支えるための研究開発と人材育成ということを理念にうたっています。

この理念を実践するためには、自分たちで意思決定できる経営体制が必要で、キャピタルを入れずに自己資金でやっています。ただし、唯一の法人株主である三菱商事から出資をいただくことで、個人商店ではなく、社会的な信用を得ています。とにかく、皆さんのベンチャーに対する不安を取り除いて、ベンチャー起業やベンチャー企業への就職が活発になればと思います。

「出るくいは打たれる」とか「ベンチャーはリスクだ」と、日本の社会でよく言われますが、それを払しょくし、マインドを変えたいと思っています。

井水　研究開発、技術開発とマネジメントを両立するというのは、なかなか難しいのも事実です。その組み合わせということも大事ですね。次は水島さんにお願いいたします。

水島　当社の社名は、独創性（Original）と良品（Good）を、あらゆるもの、あらゆる人に（for All）提供していくということで、その頭文字をとってOGAと決めました。フランス語読みすると「オーギャ」になるそうです。そういう気概で私を含め、みんなが頑張ってもらいたいということでつけた社名です。

私も含めて金銭感覚をしっかりしてほしいということ。要はだれが社長になってもよいというような会社にしたい。これを作っていくらになるという感覚を全社員に持ってもらいたいと思っています。

たった1人でも何とかして製品を作りあげるというハートを持ってやってもらいたい。ただ、1人では製品を作ることは実際は不可能ですので、協力者とうまく連携するということも非常に大切にしています。どんなに格好が悪くても腰を落として頭を下げて周りと一緒に組んで、製品を作りあげていくことを大切にしたいと思います。

井水　治博

井水　きれいごとだけで世の中そんなにうまくいくわけはない、そこをしっかり分かっておられるというのは、逆にすごいことと思います。今度は徳永さん、お願いいたします。

徳永　私どもの会社の企業理念は、創業当初から、「医療・福祉に技術で貢献し」ということと、「創造的企業として自立し、世界に信者を増やして繁栄する」ということです。

今までの技術を医療・福祉、健康といった分野に生かそうということです。それから「創造的企業として自立し」ということで、下請けではない、自社商品を作り込んで世界に売りたいということがありまして、研究開発型の会社にしようと最初から思っていました。

あとは「世界に信者を増やして繁栄する」ということで、品質、サービスも含めて、信頼される会社になりたいということを、企業理念としてやってきました。

そういう意味では、これからも医療・福祉関係を主に、介護・健康もありますが、自社商品を生み出すということで研究開発型を頭に入れています。

人材面では大企業を定年退職したOBの活用ですね。余裕のある条件で研究開発ができる人を確保したいと思っています。

井水　大企業で技師長をされた方が、韓国や中国の企業にスカウトされているという話を聞きます。できれば日本で仕事をしたいというのが本音だと思うのです。ですから積極的にOBの方々に活躍の場を与えていただくことも大事なのではないでしょうか。では最後に野田さん、お願いいたします。

野田　社名のイクスとは「EQS（Emotional Intelligence Quotient Spirits）」です。IQSでも良かったのでは、とよく言われます。私は〝頭の知能指数IQ〟よりも〝心の知能指数EQ〟の方が大切だと思っています。エモーショナルを大切にすると、遠回りをするかもしれませんが、将来にわたってたくさんの人に喜んでいただきたいという思いで、社名にEQSとつけさせていただきました。『心こそ大切なれ』という会社の理念が込められています。

私は学生時代に、感謝の気持ちが最も大切だということを一流の方々から学んできました。私たちの会社の中には尊敬する仲間しかいません。尊敬する仲間がいるからこそ、成長をさせていただけていると感じています。本日も、贈賞式での石井太湖北工業社長のスピーチを拝聴し、一流の方の感謝の御心をたくさん学ばせていただき感動しました。

当社は東京都国分寺市にあるのですが、広島県から上京して以来、国分寺にいる以上、国分寺にまず寄与できるようになり、そして日本の経済や世界の経済にも寄与できるような会社になりたいと思っています。メンバーには、常にそれは一流の考え方なのか、一流の行動なのかということや、いつ一流の方にあいさつをする機会をいただいたとしても、私は自ら挑んで一流の成長をしていますと自信を持って言えるような使命感ある生き方をしようと伝えています。

井水　素晴らしいです。この感謝の気持ちは大事だと思います。あらためて皆さんのお話を聞かせていただいて、これから皆さんに頑張っていただければ、日本は何となるという希望を持つことができました。本日はありがとうございました。

第25回「中小企業優秀新技術・新製品賞」優秀賞

スマートフォン向け CM 配信プラットフォーム

EQneo

企業と消費者のダイレクトなコミュニケーションを
～CM を脇役から主役へ～

スマートフォン時代の次世代型 CM 配信

「EQneo」は、企業の効果的なブランディングを支えるスマートフォン向け CM 配信プラットフォームです。テレビ離れが進む中、急速な普及が進むスマートフォンに CM を配信することで潜在消費ニーズを呼び起こし、低迷する日本経済を少しでも活性化したいという構想のもと開発しました。
録画機器の CM スキップ機能などからも分かるように、CM は生活者にとって“必要のない情報”として排除されてしまいがちです。しかし、本来 CM は企業が生活者に対して更なる豊かさへの提案を盛り込んだものであり、深い認知を得られるスマートフォンにおいて、必要な人に必要なタイミングで届けることにより、新たな出会いを創出するきっかけになり得ます。

ユーザーおよび広告主のメリット

ユーザーは「EQneo」アプリを無料でダウンロードし、CM を視聴してアンケートやクイズに解答するとポイントを獲得でき、そのポイントは被災地義援金や電子マネー等に交換することができます。
一方、広告主はテレビでは十分にリーチできない層への商品認知や企業ブランディング、アンケートやクイズによるマーケティングを行うことができます。また、性別や年代などを絞ったセグメント配信も実装しています。

貯めたポイントは様々なサービスに
交換することが可能

CMの問い合わせや詳細ページ、
Facebook投稿への誘導も可能

「EQneo」アプリの主な技術的特徴

端末のロック画面を解除すると自動的に CM が流れる「自動再生機能」や、iOS において自動的にバージョンアップを行う「オートバージョンアップ機能」、その他にもデータセキュリティ面、動画再生方法などにおいて様々な独自技術を盛り込んでいます。

Google Play Store でインストール（無料）
App Store でインストール（無料）

How to use

様々な企業のCMが流れます。

CMが終わると、そのCMに関連する
アンケートやクイズが出題されます。

解答するとポイントが貰えます。

EQS　イクス株式会社
〒185-0012
東京都国分寺市本町 2-12-2 三井生命国分寺ビル 6 階
mail:info-eqneo.r@eqs.jp
TEL:042-320-8111

医療ニーズに応える技術とネットワーク

■痰吸引技術
①痰吸引器
②足踏式吸引器
③唾液吸引器

■認知症対応技術
①離床センサー
②徘徊センサー
③コール機器

■ＩＴ・コミュニケーション技術
①パソコンスタンド　④携帯会話補助装置
②特殊マウス　⑤操作支援スイッチ
③意思伝達装置

■ナースケア技術
①栄養剤注入器
②カフ圧調節器

■リスクケア技術
①アラームセンサー
②生体モニター
③体動センサー

■クリーンケア技術
①洗浄機
②殺菌機
③排液収集バック

第25回中小企業優秀新技術・新製品賞に於いて、気管内痰の吸引装置「アモレＳＵ１」が優秀賞を受賞いたしました。

TOKUKI
－医療介護に技術で貢献する－
株式会社 徳永装器研究所
〒879-0232　大分県宇佐市大根川 318 番地
TEL：0978-33-5595　URL：http://www.tokuki.jp